

安心・安全の科学研究教育センターニュース

Center for Risk Management and Safety Sciences

【目次】

- 外部資金による研究課題の採択について
- 学内の危機管理活動について
- センターの活動（危機管理、公開セミナー、副専攻プログラム）について
- 新しい教職員の紹介

第22号



平成26年度

内閣府(戦略的イノベーション創造プログラム)「エネルギーキャリア」の新規研究テーマ「エネルギーキャリアに関するステーションのリスクマネジメント」および消防庁消防防災科学技術研究推進制度「水素スタンド併設給油取扱所の安全性評価技術に関する研究」が採択されました！

(1)内閣府 戦略的イノベーション創造プログラム(SIP) 課題「エネルギーキャリア」

新規研究テーマ「エネルギーキャリアに関するステーションのリスクマネジメント」が採択されました。研究開発テーマは「エネルギーキャリアの安全性評価研究」、研究題目は「エネルギーキャリアに関するステーションのリスクマネジメント」、研究責任者は環境情報研究院の三宅淳巳教授(横浜国立大学 安心・安全の科学研究教育センターセンター長)です。研究概要としては、水素エネルギーキャリアの普及に向けた規制適正化を目的とし、排出シナリオ文書、ハザード評価指針、被害・社会リスク評価指針などを公開するための研究開発を実施します。成果がエネルギーキャリアの設備に関する技術基準案の策定に用いられることで、合理的な安全レベルの確保と水素ステーション

の建設コストの適正化の達成を狙います(当課題を管理するJSTのウェブサイト <http://www.jst.go.jp/pr/info/info1042/besshi1.html>より)。本プロジェクトは当研究分野に関連した過去の実績を持つ横浜国立大学、産業技術総合研究所、広島大学の3機関が連携して行います。

(2)消防庁消防防災科学技術研究推進制度「水素スタンド併設給油取扱所の安全性評価技術に関する研究」

本研究では2015年からの燃料電池自動車の普及開始に向け、安全かつ効率的な普及のため、水素スタンド併設給油取扱所の安全性評価技術を構築し、技術基準への反映について検討を行います。連携は横浜国立大学、横浜市消防局、JX 日鉱日石エネルギー(株)、千代田化工建設(株)、岩谷産業(株)が連携して行います。

センターの活動紹介

学内の危機管理活動に協力

9月5日に全学災害対策本部および各部局災害対策本部の図上訓練を行いました。大地震発生を想定し初期対応として情報伝達、本部立上げを体験しました。12月10日には常盤台キャンパスの学生および教職員を対象にした防災・防火訓練を実施し、多くの方にご参加いただきました。地震発生の訓練放送にはじまり、各自が居場所の近くの避難場所へ移動し安否確認システムを送受信する内容でした。また、かながわシェイクアウトを各訓練の冒頭を実施しました。<http://www.ynu.ac.jp/hus/somu/12576/detail.html> 本学公式ウェブサイトより)。

公開セミナー実施報告と開催のお知らせ

公開セミナー「社会インフラ、化学/発電プラント等の高経年

化とその対策」(7月2日、メディアホール)実施報告

社会インフラやプラントの諸問題と対策についてセミナーを行いました。①インフラの高齢化とその維持管理更新マネジメント；東京大学名誉教授/横浜国立大学 安心・安全の科学研究教育センター 特任教員(教授) 藤野陽三氏 ②化学プラントの高経年化；横浜国立大学 安心・安全の科学研究教育センター長/横浜国立大学大学院環境情報研究院 教授 三宅淳巳氏 ③火力プラントの高経年化；電力中央研究所 エネルギー技術研究所 副所長 研究参事 伊藤茂男氏。参加者は102名でした。

公開セミナー「産業界及び大学における安全にかかわる人材育成」(12月25日、共同研究推進センター2F 211セミナー室)開催のお知らせ

産業界では熟練技術者の大量定年退職の状況を受け安全確保のために若手技術者に対する安全工学教育の

さらなる充実が求められています。当セミナーでは、産業界の安全技術の現状、海外の大学の安全工学教育、災害情報を用いた教育事例、大学での安全工学教育プログラムについて学内外の講師が紹介します (<http://www.anshin.ynu.ac.jp/center/topics/poster20141225.pdf> 安心センター公式ウェブサイトより)。

副専攻プログラム「安心安全マネジメント」の活動

平成 26 年度に新たに 7 名の本学の修士 1 年生が履修登録しました。リスク分析論、安心安全マネジメント特別演習、選択必修科目を受講し、さまざまな分野の安全問題やリスクマネジメント手法を学びます。

新しい教職員の紹介

併任教員 野口 和彦

環境情報研究院 教授

前職：株式会社三菱総合研究所
リサーチフェロー

2014 年 4 月 1 日付けで環境情報研究院に赴任しました。安心・安全センターも兼任することになりましたのでよろしくお願い申し上げます。前職では、科学技術政策、リスクマネジメント、危機管理等に組み込んできました。分野は、原子力からサッカーまで広範囲にわたり、他の先生方のようにこの分野というものはありませんが、多分野の広義の安全に関して横断的に対応してきた知見を基に、社会のリスクを体系的に研究していきたいと思っています。ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。



特任教員 (准教授) Dionysius M Siringoringo

前職：東京大学工学系研究科総合研究機構 特任助教
Dionysius M Siringoringo (ディオンシウス シリングゴ) は平成 11 年にインドネシア共和国のバンドン工科大学土木工学科を卒業し、平成 17 年 9 月に東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻修了し博士 (工学) の学位を授与されています。平成 26 年 4 月からは横浜国立大学 安心・安全の科学研究教育センター特任教員 (准教授) としてそれぞれ研究に従事しています。専門は構造工学であり、特に吊橋の構造と振動に関する研究分野で活発な研究を実施しています。(平成 24 年には日本風工学会から年間最優秀論文賞を受賞)。橋梁の振動を適切に測定するためのモニタリング技術の開発に加えて、振動による橋梁の損傷に対する評価、地震動がもたらす橋梁の振動の解析などの研究を積極的に展開しています。地震動の記録に基づいた横浜ベイブリッジの評価など長大橋に関する研究に大きく貢献しています。(平成 25 年には田中賞論文

部門)。(※ 尚、10 月 1 日付で本学の先端科学高等研究院に異動されました。)

客員教授 石原 修

前職 横浜国立大学工学研究院教授
現職 中部大学総合工学研究所教授

2014 年 4 月着任。1972 年横浜国立大学工学部安全工学科卒、その後アメリカでプラズマ科学を学び、サスカチュワン大学研究員、テキサス工科大学教授を経て、1999 年～2014 年横浜国立大学工学研究院教授。専門はプラズマ物理学。



客員教授 半井 豊明

前職：横浜国立大学大学院 環境情報研究院 客員教授

8 月から、安心・安全の科学研究教育センターのお世話になっていません。1945 年、愛媛県に生まれ、住友化学(株)などを経て、2007 年から環境情報研究院で 3 プロジェクト (科学技術振興機構・環境省・文部科学省) に参加。センターでは到来する可能性のある「水素社会」の施設の安全について取り組んでいきます。皆様のご指導とご支援をお願いいたします。



客員教授 南川 秀樹

前職：環境省事務次官

現職：一般財団法人 日本環境衛生センター理事長

イノベーションを横浜から、これが私の一丁目一番地です。世界も日本も、変革の時期です。明治維新前後の日本の姿を想起し、世界への窓口としての横浜からこの国の未来を考えましょう。新しいシステム、そして技術を生み出し、磨き上げ、日本と世界に発信しようではありませんか。



安心・安全の科学研究教育センターニュース

第 22 号 2014 年 12 月 15 日発行

国立大学法人 横浜国立大学

安心・安全の科学研究教育センター



〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5

TEL : 045-339-3776

FAX : 045-339-4294

URL : <http://www.anshin.ynu.ac.jp>

E-MAIL : anshin@ynu.ac.jp